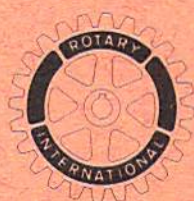


1979 ~ 1980

井上ガバナー公式訪問報告書

1979. 10. 24



鹿児島西ロータリークラブ

四 つ の テ ス ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロ ー タ リ ー 綱 領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拓めること；
2. 実業及び、専門職業の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な職業は、尊重されるべきであるという認識を深めること；
そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び、社会生活に常に、奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と、専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう

RI会長 ジェームズ L. ボーマー, Jr.

ロータリアンの皆さん

75年にわたりロータリアンは「炬火の持ち手」となって、多くの国々の多くの人々のために、よりよき生活への道を照らしてまいりました。オリンピックの走者のように、われわれは、前の走者たちからたいまつを受け継いで来ました。それは偏狭、無知、病気、飢餓など人間社会の暗い面に光をもたらす奉仕のたいまつでもあります。

ロータリーの奉仕のたいまつは、1905年にともされました。以来、それは次々と受け継がれ現在では、世界中約18,000の地域社会の850,000人におよぶロータリアンの手にかかげられております。

ロータリーの視界は絶えず広がりつつあります。所の如何を問はず、そこにいる人々の生活に、奉仕の光、友好と理解の光をもたらすための新しい道がわれわれの前に開けつつあります。われわれが、さらに大きな決意をもって平和のビジョンを一層強化する活動に乗り出そうとするときには、**奉仕の灯で道を照らすようにしましょう**。ロータリアンが一人残らず、平和への同じ願いを表明している無数の人々と心をあわせて、すべての人間の尊厳を心から認め、人々が求めているものを考え、そうした問題に配慮しましょう。ロータリーが人々の求めているものに関心を持ち——そして行動することを皆に知らせましょう。

われわれには伝統があります。われわれには責務があります。われわれには開かれた道があります。いまこそ、世界友好の精神をもって前進しようではありませんか ……………

奉仕の灯で道を照らそう ではありませんか。

・・・あなたの
クラブで



クラブのプログラムや活動にもっと身を入れるようにしましょう。新しい会員のために道を照らしましょう。お互いの親しみと思いやりを通じて、ロータリーが数においても、力においても、成長するように努力しましょう。

・・・あなたの
職場で



あなたの職場における良心的行動について自覚と関心をさらに高めるようにつとめましょう。あらゆる有用な職業のもつ尊さに対し、またその仕事を通じて世界中の誰もがもつ重要さに対し、さらに深い敬意をはらうようにしましょう。若い人たちを導いて価値ある職業人にならせましょう。

・・・あなたの
地域社会
で



地域社会の不和を醸している問題にスポットライトをあて、解決の緒が見つかるように、そしてお互いに知らない人どうしが隣人となり、隣人が友人となるようにしましょう。若者にも、老人にも、またからだの不自由な人にも、恵まれない人にも、りっぱな、世のためになる生活をする力が自分たちにあるのだということを自覚させるようにしましょう。

・・・世界の至
るところ
で



誤解と苦難を追放しましょう——さらに高度の友好と理解と平和を追求しながら——保健、飢餓追放および人間性尊重のプログラム、世界社会奉仕、ロータリー財団、組み合わせ地区およびクラブ、プログラム、および人との交流を実践しながら。

敬 具

James L. Bomar, Jr.

ジェームズ L. ボーマー, Jr.

(冊子の表紙)

書 取 手 続 書

会 員 登 録 手 続 書

会 員 登 録 手 続 書

会 員 登 録 手 続 書

会 員 登 録 手 続 書

目 次

クラブ協議会プログラム	1
役員並びに委員会名簿	2
会 長 報 告	3
幹 事 報 告	5
クラブ概況	6
西ロータリークラブの推移	8
会 計 報 告	10
クラブ奉仕委員会	10
出席委員会	11
職業分類委員会	12
会員選考委員会	12
会員増強委員会	13
プログラム委員会	14
広報委員会	15
親睦委員会	17
ロータリー情報委員会	18
会報・雑誌委員会	19
職業奉仕委員会	20
社会奉仕委員会	21
青少年奉仕委員会	22
ローターアクト委員会	23
インターアクト委員会	24
国際奉仕委員会	25
ロータリー財団委員会	26
創立75周年記念委員会	27
S. A. A	29

(別表及び別冊)

- 昭和54年度予算書
- 充填・未充填職業分類表
- 会員名簿
- 備品目録
- 行事予定表

クラブ協議会プログラム

1979. 10.24

於：鶴鳴館

5:30	点 開 会 の 鐘	副 会 長	柴 山 一 雄
	ロータリーソング斉唱 (奉仕の理想)		
5:40	歓迎の辞並びに ガバナー、分区代理紹介	会 長	川 上 鐵 太 郎
5:45	ガバナー挨拶	ガバナー	井 上 和 人
	会 員 自 己 紹 介		
	(食 事)		
6:40	会 長 報 告	会 長	川 上 鐵 太 郎
	幹 事 報 告	会 幹 事	川 田 恵 一
	会 計 報 告	会 計 長	中 村 一 雄
	クラブ奉仕委員会報告	副 会 員	柴 山 一 雄
	出席委員会報告	委 員 長	渡 辺 匡 匡
	職業分類委員会報告	"	佐 伯 寿 郎
	会員選考委員会報告	"	城 哲 善 男 治
	会員増強委員会報告	"	中 村 善 正 二 生
	プログラム委員会報告	"	岩 元 沢 紀 高 重
	広報委員会報告	"	徳 柿 市 勝 正 昭 益
	親睦委員会報告	"	瀬 戸 山 尾 正 益 治
	ロータリー情報委員会報告	"	中 尾 留 敏 卓 視
	会報・雑誌委員会報告	"	吉 井 迫 卓 其 為
	S・A・A 報告	S・A・A 委 員 長	高 田 原 迫 卓 其 為
	職業奉仕委員会報告	"	田 林 池 田 久 保 政 紀 生 人
	社会奉仕委員会報告	"	池 田 久 保 政 紀 生 人
	青少年奉仕委員会報告	"	池 田 久 保 政 紀 生 人
	国際奉仕委員会報告	"	池 田 久 保 政 紀 生 人
	ロータリー財団委員会報告	"	池 田 久 保 政 紀 生 人
	創立75周年記念委員会報告	"	池 田 久 保 政 紀 生 人
	講 評	ガバナー事	井 上 和 恵 一
10:04	閉 会 の 鐘	幹 事	川 田 恵 一
	点 鐘		
	記念写真撮影		

鹿児島西ロータリークラブ役員・理事・委員会名簿

1979. 7~1980. 6

会長	川上織太郎	副会長	柴山一雄
(理事)		(理事)	
幹事	川田恵一	副幹事	光吉正昭
理事	高井敏治	田原迫卓視	林其為
	池田 広	中村一雄	
S・A・A	吉留 益	副S・A・A	小正芳史

委 員 会	所 属 会 員 (◎委員長、○副委員長)
出 席	◎渡辺 匡、○岩男秀彦、岩田太一、池口恵観、原 三郎、水淵清治、中島修之輔
職 業 分 類	◎佐泊寿郎、○田平礼章、藤安辰造、橋口十蔵
会 員 選 考	◎城 哲男、○福田正臣、小園正人、佐伯延次郎
会 員 増 強	◎中村善治、○浜田 馨、新福栄熊、三角桂次郎
プ ロ グ ラ ム	◎岩元正二、○中村俊雄、徳田 基、若松宇治彦、内山光男
広 報	◎徳沢紀生、○幸泉芳良、池田 稔、和田吉人
親 睦	◎柿市高重、○桜美義明、古木圭介、宇治野純章、安田正治、沢田貫太郎、山下皓三、山口祐司、下田平哲夫
ロ ー タ リ ー 情 報	◎瀬戸山勝賢、○山下静雄、平岡禎吉、鮫島志芽太
会 報 ・ 雑 誌	◎中尾正昭、○岡山 栄、河井時義、桜美四郎、谷山 寛、松田徳平
職 業 奉 仕	◎高井敏治、○二階堂正明、牧田健二、久保田彦穂、木治屋克己
社 会 奉 仕	◎田原迫卓視、○肥後克郎、小山幸義、岩元 基、新原 剛
青 少 年 奉 仕	◎林 其為、○太原春男、川畑正美、高橋 司、福田敏之
(インターアクト)	◎下野隆三、○谷口行生、大庭 昇、岡元健一郎、軸屋昭二
(ローターアクト)	◎土橋 滋、○米倉清嘉、藤 都喜七、前田好文、海老原利則、中沢省三
国 際 奉 仕	◎池田 広、○尾辻省悟、外西寿彦、岩元紀彦
ロ ー タ リ ー 財 団	◎久保政次、○川村 洋、岩元健吉、山田裕三
ロ ー タ リ ー 賞 推 薦	◎柴山一雄、田原迫卓視、高井敏治、岩元正二、徳沢紀生、中尾正昭
創 立 7 5 周 年 記 念	◎徳沢紀生、○柴山一雄、田原迫卓視、高井敏治、岩元正二、中尾正昭

会 長 報 告

会長 川 上 鐵 太 郎

本日、本年度第273地区井上和人ガバナーの公式訪問をお迎えしまして、全員協議会を開きますことは誠に喜びとするところでございます。

当西クラブは、昨日で創立以来満16年7カ月の歴史を刻みまして、会員数も87名となり、創立時の3.6倍に増え、ロータリーの理念実現のため、自己研鑽の月例学習会を続け、ロータリー賞贈呈、学童への友愛文庫、四つ子育成金制度の継続実施、ローターアクトクラブ並びにインターアクトクラブの指導助成、米国との交換学生受入、クラブ週報の増頁および内容充実等、輝やかなしい奉仕活動を行っております。これは、ひとえに会員皆さま方の日常のたゆみない奉仕活動の賜ものと存じます。

私はこの友愛と知的な雰囲気や伝統とする個性ある当西クラブの第17代会長として就任以来、月日を重ねるにつれて、その責務の重さに押しつぶされるような思いでございます。

しかし、幸いにして経験豊かな勝れた先輩会員の皆さまのお力添えによりまして、非力ながらこの個性あふれる伝統をより発展させるようなクラブ運営に努めて参りたいと存じます。

組織というものは、とかくそれが肥大化しますと、活動が固定化し、組織メンバーは自分の任務に無関心となり、役員、幹部は異論や対立を恐れ、ひたすら安易な手段に墮り、会議会合は単なる飲食の場に終りやすくなるものであります。当西クラブにはそのような懸念はないものの、仮りに、そんな方向に傾斜し、国際ロータリーの発展、当西クラブの発展を阻害することのないよう反省し、自戒している次第でございます。

奉仕活動は、先ず、ロータリーの理念を理解し、共鳴し、会員個人が、クラブ内の奉仕と自己の職場における職業奉仕に努力することが基本であって、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕は、クラブ奉仕および職業奉仕の遂行につれて自ら生れてくるものと考えております。

そして、ジェームズ・L・ボーマーR・I・会長のメッセージのとおり、私たちは奉仕の灯で人びとのために道を照らしてさしあげたいと存じます。要するに、ロータリーの理念を遂行することが、いつかの日にか世界の平和を招くのであり、われらロータリアンは、日常世界の平和と人類の幸福の到来に寄与しているのであるとの信念に徹して、それに誇りを持ち、同じ心の人びとを世界中いっばいにふやすことであると思っております。

当西クラブの本年度事業計画につきましては、各委員会が今月までに実行についての検討

を終り、いよいよ来月より実行に移され、その成果が期待されているのであります。

本日は、私どもの奉仕活動について、井上ガバナーの忌憚ないご見解をお示し頂き、ご助言を賜りたいと存ずる次第でございます。そして、今後私どもは、会員相互の親睦を深めつつ、奉仕活動に大いに積極的に意欲的に取組み、ロータリーの理念遂行のため最善の方法と努力を重ねて参りたいと考えておりますので、どうぞ会員の皆さまのご指導とご協力とをお願い申し上げます。

幹 事 報 告

幹 事 川 田 恵 一

幹事のあるべき姿としての真面目さと、誠実さを以て努力したいと思っています。特に下記事項については注意して行きたいと考えます。

1. クラブの記録・出席の記録・クラブ関係の議事録の作成を入念にする事
2. 諸報告の期限厳守

R・I事務総長に対する半期会員報告をはじめ、地区ガバナー等への義務報告、其他諸報告の期限厳守に留意する。

3. 各委員会活動への手伝い

各委員会の活動が活発にできるように、縁の下の力もちとして御手伝いする。

4. 当番クラブとしての手伝い

本年度は市内及び県下の会長・幹事会の当番クラブとして開催準備等について川上会長の補佐役として種々御手伝いする。

ク ラ ブ 概 況 報 告

(昭和54年10月24日現在)

幹 事 川 田 恵 一

1. 創 立 年 月 日 昭和38年 3月23日
2. 承 認 年 月 日 昭和38年 6月27日 (九州において第28番目)
3. チャーターナイト 昭和38年11月20日
4. 当時の R. I. 会長 ニッチシ・P・ラハリー (インド)
5. 当時のガバナー 進 藤 誠 一 (第370地区)
6. スポンサークラブ 鹿児島ロータリークラブ
7. チャーターメンバー 24名 (その内、現在会員8名) 8 ページ
8. '区 域 鹿児島市中央部を貫通する甲突川上流の玉江橋から下流へ
—— 西田橋 —— 高麗橋に至り西へ高麗町本通り ——
大学通り —— 中郡電停 —— 更に電車路線に沿い鴨池公園南角に至り西へ谷山街道を経て宇宿町へ至る鹿児島市西方区域
9. 事 務 所 ホテル鶴鳴館 電話 0992-23-5902
10. 例 会 日 毎週木曜日 12時30分~13時30分
11. 例 会 場 ホテル鶴鳴館
12. 歴 代 会 長 8 ページ
13. 歴 代 幹 事 9 ページ
14. 現 在 会 員 数 正 会 員 59名
シニア・アクティブ会員 29名
計 88名
入退者数 入会者 2名
退会者 1名
15. 平 均 年 令 57.25才
最 高 84才 最 低 32才
80才台 1名 70才台 14名
60才台 24名 50才台 26名

40才台 17名 30才台 6名

16.	出席率	96.92% (7月~9月平均)		
17.	入会金	25,000円		
18.	会費	年間 130,000円		
19.	ビクター会費	1,300円		
20.	会報	毎週週報を発行		
21.	ロータリアン誌	1名 (他に3冊購入)		
22.	レピスタ誌	1名		
23.	クラブ協議会	2回 (あと5回以上)		
24.	クラブフォーラム	2回 (あと2回以上)		
25.	炉辺会合	1回 (あと2回以上)		
26.	理事会	定例……………毎月第2例会日 臨時……………必要に応じ随時		
27.	委員長会議	毎月第1例会日		
28.	会長・幹事会	県下R.C.分 0 (あと2回) 市内R.C.分 1回 (あと1回)		
29.	予算	別紙		
30.	財産目録	別紙		

西 口 - タ リ -

昭 和	西 歴	ガ バ ナ -		会 長
38~39	1963~64	嘉 村 平 八	初 代	桜 美 四 郎
39~40	1964~65	町 田 秀 実	2 代	土 橋 英 夫
40~41	1965~66	島 津 久 厚	3 代	塘 一 郎
41~42	1966~67	吉 村 常 助	4 代	米 倉 秀 雄
42~43	1967~68	向 笠 広 次	5 代	島 津 忠 丸
43~44	1968~69	大 津 篤 造	6 代	鮫 島 志 芽 太
44~45	1969~70	日 高 安 壯	7 代	佐 伯 延 次 郎
45~46	1970~71	八 田 秋	8 代	久 保 田 彦 穂
46~47	1971~72	小 田 一 昭	9 代	岩 元 正 二
47~48	1972~73	東 博 仁	10 代	牧 田 健 二
48~49	1973~74	杉 原 頼 三	11 代	川 村 洋
49~50	1974~75	竹 野 融	12 代	新 福 栄 悠
50~51	1975~76	後 藤 基 彰	13 代	福 田 敏 之
51~52	1976~77	塘 一 郎	14 代	岡 元 健 一 郎
52~53	1977~78	西 田 武 雄	15 代	河 井 時 義
53~54	1978~79	吉 村 武 文	16 代	藤 安 辰 造
54~55	1979~80	井 上 和 人	17 代	川 上 鐵 太 郎

○ チャーターメンバー (アルファベット順)

安 楽 慶 一 郎 福 井 浩 船 木 潔 堀 俊 一
 犬 伏 康 夫 岩 元 健 吉 岩 元 正 二 河 井 時 義
 川 村 洋 小 山 幸 義 倉 園 清 市 黒 木 長 太 郎
 牧 田 健 二 松 元 明 人 大 小 田 友 一 大 山 実
 西 郷 隆 永 桜 美 四 郎 柴 山 一 雄 島 津 忠 丸
 田 原 誠 助 塘 一 郎 土 橋 英 夫 米 倉 秀 雄

計 24名

ク ラ ブ の 推 移

幹 事	会 員 数	平 均 年 令	平 均 出 席 率	そ の 地 区 順 位
川 村 洋	35名	50.0才	99.18%	9位
高 徳 三 蔵	44	49.0	99.11	9
河 井 時 義	48	51.40	99.09	8
藤 安 辰 造	46	52.70	98.81	
安 楽 慶 一 郎	55	53.30	99.79	9
柴 山 一 雄	58	53.00	99.92	4
高 井 敏 治	61	52.80	99.92	6
久 保 政 次	65	52.60	98.83	9
田 平 礼 章	73	53.19	99.01	5
浜 田 馨	79	52.09	98.14	10
外 西 寿 彦	75	54.30	98.73	9
小 山 幸 義	79	53.80	97.91	9
池 田 広	85	54.60	97.63	10
中 村 善 治	86	55.70	95.49	
小 園 正 人	90	57.10	96.52	
三 角 桂 次 郎	87	56.45	96.59	
川 田 恵 一	88	57.25	96.92	

○ ポールハリス・フェロー

故 塘 一 郎

準ポールハリス・フェロー

柴 山 一 雄 桜 美 四 郎 岩 元 健 吉 川 村 洋

池 田 広 河 井 時 義 岩 元 正 二 藤 安 辰 造

海老原 利 則 外 西 寿 彦 岡 山 栄 中 村 善 治

池 田 穰 (永 井 利 承) 川 上 鐵 太 郎

以 上 15 名

会 計 報 告

会 計 中 村 一 雄

会計の任務は、すべての資金の管理、保管を確実にすることと、クラブの収支及び財政状態について年1回その他理時会の要求ある時に説明するため、又収支報告書を作成するために会計諸帳簿、証憑を常に整備することにあると考えます。

従って、定期預金証書等重要なものは、銀行の貸金庫に保管することとし、諸帳簿の整理については毎月検証を実施しております。

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長（副会長） 柴 山 一 雄

6月30日、新理事、新各委員長集合して、次期における会の運営、継続事項等について協議した。クラブ奉仕委員会では、毎月第一回例会にて、小委員会をメインテーブルで実施することに決定しました。当クラブでは毎月第二例会後、理事会をいたしますので小委員会の報告、提案事項を理事会に提案することにしていきます。

1. 75周年記念委員会は、市内合同事業について経過、報告を毎月行っています。
2. インターアクト委員会より8月2～4日の年次大会の計画、実施報告を受ける。
3. 親睦委員会より、観月会について計画、準備を説明される。
4. 当クラブで新規計画の奨学金について、主として青少年委員会と関係者について、準備することになった。

出席委員会

委員長	渡 辺 匡
	岩 男 秀 彦
	岩 田 太 一
	池 口 恵 観
	原 三 郎
	水 渕 清 治
	中 島 修之輔

1. 基本方針

出席訂正率100%を目標とする。

各種会合への出席を奨励し、全会員に、出席規定を周知せしめるよう努める。

2. 計 画

- (1) 連続出席者表彰を本年度も引続き実施する。
- (2) 常に、出席率を把握し、欠席者への連絡を密にする。
- (3) 出席規定については、情報教育の一環として行なう。
- (4) ロータリー情報委員会等に協力してもらって、地区大会、その他、上級会合への出席、特に、ホームクラブへの出席の大切なことを、会員にくりかえし強調したい。

3. 業 績

- ① 54年7月～9月までの平均出席率は96.92%で前年7月～9月までの平均出席率(97.37%)に比較してみるといく分低下しています。
今後は、もっと出席率の向上につとめるつもりです。
- ② 例年通り、連続出席者に対しては、記念品を贈り表彰しました。
- ③ 2回以上欠席している会員には、ハガキを出し、出席の督励をしました。
- ④ 月末には、委員会別の出席率を週報に掲載し、出席の昂揚を促した。

職 業 分 類 委 員 会

委員長 佐 伯 寿 郎
田 平 礼 章
藤 安 辰 造
橋 口 十 蔵

1. 基本方針

職業分類にもとづく会員組織計画は、ロータリー・クラブの正しく、かつ、積極的活動の基本的問題であるので、理事会と協議して、その任務をつくしたい。

2. 計 画

できるだけ早く、おそくとも、8月31日末現在の、充填・未充填の職業分類一覧表を作成し、必要に応じては、職業分類も再検討したい。

職業分類に関する問題については、理事会と相談しながら作業をすすめたい。

3. 業 績

R. C. の正常な発展の基礎であるという認識のもとに委員会での十分な協議検討をへて、理事会に相談し8月31日現在の分類表を作成しました。

会 員 選 考 委 員 会

委員長 城 哲 男
福 田 正 臣
小 園 正 人
佐 伯 延次郎

1. 基本方針

前年度の方針を維持していくつもりであります。特に、例会出席可能な点に、注意を

払いたいと思います。

2. 計 画

選考すべき新入会員は、年度を通じて9名位を予定しております。

3. 業 績

今年度に入り、会員増強委員会の方から5名くらいを考慮中と聞いていますので、今年度の活動方針にそって、特に例会出席可能であり、出席意欲の強い人を選考するつもりであります。

目下1名を選考中ではありますが、上記の方針を堅持する考えに変わりありません。

会 員 委 員 会

会 員 増 強 委 員 会

委員長	中 村 善 治
	浜 田 馨
	新 福 栄 熊
	三 角 桂 次 郎

1. 基本方針

職業分類委員会、会員選考委員会と連絡を密にして、良質の若い会員を推せんするものとし、増強率約10%を目標とする。

2. 計 画

- (1) 全会員に、会員候補者の発見と、推せん方をお願いする。
- (2) シニア・アクティブ会員に、職業分類において、未充慎のものがあれば誰か推せん方を依頼する。
- (3) 広報委員会にも、協力をお願いし、報道関係者の増強を図る。
- (4) 5年以上在籍されて、まだ、新会員を推せんされたことのない方に、有望な候補者を

見付けるよう相談する。

(5) ローターアクトに着目する。

3. 業 績

本年度に入り2名増強、1名減（会員死亡）となっています（9月20日現在）、しかし、目下増強予定として考慮中の方が5名あります。

計画でいろいろと増強方法を考えましたが、出来れば、全会員が各々1人ずつを推薦願ひその中から適当な方を10名位選考願ひ度ものと考えています。

プ ロ グ ラ ム 委 員 会

会 員 委 員 会 委員長

岩 元 正 二

中 村 俊 雄

徳 田 基

若 松 宇治彦

内 山 光 男

1. 基本方針

ロータリーの奉仕活動にふさわしいものであり、会員相互の啓発に役立つように、しかも、バラエティーに富み、楽しく興味あるプログラムを編成したい。

2. 計 画

- (1) 卓話者の選定紹介は、毎月各委員交替で担当する。
- (2) 会員の卓話も有益であり、会員のご協力のもとに、プログラムに盛り込みたい。
- (3) ロータリーの行事週間については、タイムリーに取り入れていく。

3. 業 績

月	日	テ	マ	卓 話 者	ク ラ ブ の 行 事
7	5				ク ラ ブ 協 議 会
	12				決 算 報 告 と 予 算 審 議 会
	19				各 委 員 会 活 動 方 針 発 表
	26	潮 流 の 変 化		日 本 開 発 銀 行 鹿 児 島 事 務 所 長 植 村 俊 夫	
8	2	観 光 の 動 き		日 本 交 通 公 社 鹿 児 島 支 店 長 勝 野 昭 弘	
	9	最 近 の 雇 用 状 況 に つ い て		鹿 児 島 公 共 安 定 所 長 緒 方 邦 憲	
	16	最 近 の 青 少 年 と 接 触 し て		森 と 湖 の 里 理 事 長 近 藤 重 和	
	23				フ ァ イ ヤ サ イ ド ミ ー テ ィ ン グ
	30	現 下 の 交 通 情 勢 に つ い て		県 警 本 部 交 通 部 長 永 野 義 光	
9	6	自 然 愛 護 あ れ こ れ		鹿 児 島 県 教 育 庁 文 化 課 吉 井 浩 一	
	13	若 者 に 夢 と 希 望 を		前 山 下 小 学 校 校 長 竹 之 下 正 幸	ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム (青 少 年 奉 仕 委 員 会)
	20	ロ ー タ リ ー ソ ン グ 指 導		鎌 田 範 政	

広 報 委 員 会

委員長 徳 沢 紀 生
幸 泉 芳 良
池 田 穰
和 田 吉 人

1. 基本方針

ロータリーに対する、地域社会の認識、理解および、支持の基盤拡大を計るため、広報活動を通じて、ロータリーの奉仕活動等を一般の人々に、より広く知ってもらうよう、計画をたてて、積極的に実行する。特に、75周年記念祝賀に関係する事項を重点とする。

2. 計 画

- (1) 報道機関（新聞・ラジオ・テレビ）および、関係官庁広報担当者との連繫を密にし、広報関係者との会合を催す。なお、市内他クラブと連絡し、報道関係者との合同連絡協議会を開催する。
- (2) 特に、報道機関の記事に掲載したい行事がある場合は、クラブ例会その他の会合に招待する。
- (3) 報道価値のある情報（交換学生、留学生等）については、「ニュース」資料を報道機関および、関係官庁の広報担当者に送付する。
- (4) ロータリー関係の書籍、特に、「ロータリーの友」、「75周年記念号」、「クラブ週報」等を、一般の人々が目につき易い図書館、県民室、市役所、公民館等に配布する。
- (5) 報道機関の関係者、特に、当クラブは、新聞関係の会員がいないので会員増強委員会と連繫して、入会に努める。
- (6) 参考出版物「実践できる広報」および、「あなたの町では、ロータリー・クラブは如何なるものと考えていますか？」の両書を購入する。
- (7) 75周年記念祝賀関係は75周年記念委員会と協議し、別途計画する。

3. 業 績

1. 市内5クラブの広報委員会正副委員長会合を開催し次の事項を協議決定した。

- ① ロータリーの友及週報の各報道機関への送付分担を下記の通り協定した。

南日本新聞 鹿児島クラブ

鹿児島新報 南 ク ラ ブ

M B C 西 ク ラ ブ

K T S 東 南 ク ラ ブ

- ② 交換学生に関する報道を新聞だけでなくNHK、MBC、KTSにも依頼する。

- ③ 75周年記念行事としての市内R.C.少年野球大会の報道。

- ④ 2月上旬75周年記念に関し報道関係者と市内5R.C.広報委員会、75周年委員会との合同懇談会を開催する。

2. 「実践できる広報」及「あなたの町では、ロータリー・クラブは如何なるものと考えていますか」のR.I.出版物を送付して戴き広報の参考資料とした。

親 睦 委 員 会

委員長	柿 市 高 重
	桜 美 義 明
	古 木 圭 介
	宇治野 純 章
	安 田 正 治
	沢 田 貫 太 郎
	山 下 皓 三
	山 口 祐 司
	下田平 哲 夫

1. 基本方針

ロータリーの全ての奉仕活動は、まず親睦からはじまり、相互理解 → 相互協力による奉仕活動に至るものと思われます。従って、会員相互のまた家族間の親睦が深まる様、巾が広がる様、いろいろ努力工夫いたしたいと思ひます。方法としては、特に新しいものはありませんが、従来の諸先輩のあげられたものを一つ一つ充実したものにもっていくつもりです。

2. 計 画

- (1) S・A・Aと協力して、例会毎の席順をなるべく固定化しない様にする。
- (2) 観月会、クリスマスの二大行事において、家庭相互の親睦をはかる。
- (3) 新入会員を中心とした三木会の復活を考える。
- (4) 親睦ゴルフ（西クラブ内、他クラブとの合同コンペ）を考えている。（年2回程度）
- (5) 学習会（現在行なわれている）になるべく多く出席して頂き、この場を通じての親睦をはかる。
- (6) ニコニコ・ボックスについては、どんな小さなよろこびでも、金額にかかわらず、ともによるこびを分け合っていたきたいと思ふ。

3. 業 績

- ① 席順につきましては、S・A・Aのご協力により委員会別、自由席と配席致しましたが、

今後は、関連のある委員会の合同席とか更に努力致したいと存じます。

- ② 観月会：去る10月2日に盛会裡に終了。総数208名に及びました。国際委員会のご配慮により、21名の鹿大学生の参加を得て、国際的親睦の実も上ったかに思っています。
- ③ 三木会：当会幹事と相談して計画。11月中に行なう予定です。
- ④ ゴルフ：当委員会の山下会員が11月に計画致しております。（酷暑の時期はさげました）
- ⑤ 学習会：毎月定例的に行なわれており、出席会員の親睦はとみに深まっておりますが、出席メンバーに固定化の傾向があり、今後、巾広く会員によびかけるつもりです。
- ⑥ ニコニコ・ボックス：今期初期に比較し、先ぼそりの傾向があり、後半、会員の関心を高め、自主的積極的の申告をお願いする予定です。

ロータリー情報委員会

委員長 瀬戸山 勝 資
山下 静 雄
平岡 禎 吉
鮫 島 志芽太

1. 基本方針

細則8条(i)項

すなわち、ロータリー・クラブの特典と責務に関する情報を、

- (イ) 会員候補者に提供。
- (ロ) 会員、特に新入会員に適切な理解を与え、ロータリーの歴史、綱領規模、活動に関する情報を提供する。
- (ハ) 国際ロータリーの管理、運営の動向について情報提供。

2. 計 画

- (1) 前年度に引続き、希望者による「ロータリー学習会」を、毎月1回開催する。親睦委員会と共催にしたい。
テーマによっては、各委員会との共催を計りたい。
- (2) クラブの催事、上部会合等の解説を週報に掲載。
- (3) 毎例会に「3分間情報」の実施。
- (4) 例会場に、標語「入って学び、出でて奉仕せよ」等の掲示。

3. 業 績

- ① ロータリー学習会、関連委員会と共催
 7. 17 75周年に就いて 参加者12名
 8. 21 青少年奉仕に就いて " 11名
 9. 18 職業奉仕に就いて " 7名
- ② 3分間情報
 - 7月 会員3分間スピーチ 山下皓三君
 - 8月 " 下田平哲夫君

会 報 ・ 雑 誌 委 員 会

委員長	中 尾 正 昭
	岡 山 栄
	河 井 時 義
	桜 美 四 郎
	谷 山 寛
	松 田 徳 平

1. 基本方針

週報を通じて、会員の親睦増進と、また、全会員が有意義なロータリー活動を推進でき

るよう努める。

2. 計 画

- (1) 各委員長と連絡を密にし、ロータリー教育に寄与する記事を週報にのせる。
- (2) 「ロータリアン誌」を、ローターアクト、インターアクト（鶴丸、鹿児島各高校）に配布する。
- (3) 週報様式を刷新する。

3. 業 績

- ① 卓話の予告及び要旨を週報にのせている。
- ② ロータリー情報に関する記事又、ロータリー教育に寄与する記事を出来得る限りのせている。
- ③ ロータリアン誌をローターアクト・インターアクト（鶴丸・鹿高）に配布した。
- ④ 週報を四頁にし、第一面には川上会長の創作によって四季の花々のスケッチを掲載した。

職 業 奉 仕 委 員 会

会 員 委 員 長 ・ 幹 事

委員長	高 井 敏 治
	二階堂 正 明
	牧 田 健 二
	久保田 彦 穂
	木治屋 克 己

1. 基本方針

職業奉仕は、ロータリアンの義務であり、常時行なわねばならないものである。委員会としては、個々のロータリアンが、「ロータリー精神を、その職場に生かす」のを、助ける仕事の調整をはかることである。

2. 計 画

- (1) 職業奉仕の概念について、各ロータリアンと研修する。
- (2) 優良職場を訪問し、職業奉仕に関する見聞を広め、優良職業人の表彰を行なう。
- (3) 事例研究を実施する。

3. 業 績

- ① 273地区職業奉仕委員会が今年再版した「或る職業奉仕の事例」が事例研究にふさわしいものと思われたので、会員に読んでもらうために週報に連載中である。
- ② 10月18日のクラブフォーラムに於いて、職業奉仕週間に因んだ卓話を行なった。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 田原迫 卓 視
肥 後 克 郎
小 山 幸 義
岩 元 基
新 原 剛

1. 基本方針

他の委員会と連絡を密にしながら、地域社会のニーズを調査研究し、奉仕活動の推進に努める。

2. 計 画

- (1) 老人福祉乃至、保護対策の推進に協力する。
- (2) ロータリー賞の継続。
- (3) 交通安全運動に協力する。
- (4) 都市美化運動に協力する。

3. 業 績

活動の予定として、①老人の福祉対策への協力、②ロータリー賞の継続、③交通安全運動の協力、④都市美化運動への協力、等を考えているが、新年度に入って間がないため、まだいわゆる業績を挙げるには至っていない。しかし①の老人の福祉対策への協力については、近く鹿児島市の老人対象に、親子の身分関係、扶養問題、財産の相続、遺言等老人の身分関係および財産関係の法律問題のほか、老人の保健衛生等についての講話を行なうことを予定している。②以下の諸問題についても逐次実績を挙げたいと考えている。

青 少 年 奉 仕 委 員 会

会 員 委 員 長

林	其 為
太 原	春 雄
川 畑	正 美
高 橋	司
福 田	敏 之

1. 基本方針

青少年の健全育成に対する助成と、道義の高揚と地域社会における奉仕活動を、積極的に推進し、他団体とも密接な連係をとり実践する。特に I.A.C.、R.A.C. の委員長と連絡をとり、円滑に運営していきたい。

I.A.C.、R.A.C. の活動については、今までの活動をそのままに、より良い指導者、助言者であるように努めたい。特に、野外活動および、青少年指導者育成に重点をおく。

2. 計 画

- (1) R.A.C. の例会には、多数の R.C. メンバーの出席をお願いし、アドバイス等をお願いする。そして、R.A.C. 会員増強にも協力願いたい。
- (2) 野外活動、早朝掃除、施設訪問等必ず R.C. メンバーの参加を要請する。
- (3) I.A.C. 活動については、鶴丸高校、鹿児島高校の会員と接触の機会をふやし、特

に、先生方との懇談会をもちたい。そして、卓話も数多くして、助力、援助したい。

(4) 青少年の健全育成の一助として、悪書追放、不健全な場所への立入等不良化防止への指導をしたい。

3. 業 績

例会にて9月の青少年活動週間では、元山下小学校長竹之下正幸氏を講師にむかえ、「青少年に夢と希望を」という題で卓話をさせていただきました。

先日は、青少年地区委員長の西田パストガバナーをむかえ、勉強会も致しました。

野外活動として、市内5クラブと合同で少年野球大会をこの秋計画して居ります。

ローターアクト委員会

委員長	土 橋	滋
	米 倉	清 嘉
	藤	都喜七
	前 田	好 文
	海老原	利 則
	中 沢	省 三

1. 基本方針

地域社会の指導者となる青年の指導、啓発に寄与し、その若者の行動力を、地域社会への奉仕の精神に生かし、西ローターアクトクラブの充実、発展を計る。

青少年奉仕委員一丸となって、ロータリー精神に基づき、「共に奉仕する」を合い言葉に、沈滞気味のローターアクト再建に努めたい。

2. 計 画

- (1) ローターアクト会員の増強を計る。
- (2) ローターアクト例会に、2名以上、必ず出席する。

- (3) ローターアクト273地区年次大会、および、幹部研修会に参加、援助。
- (4) ローターアクト例会に委員会別の出席を義務づけ、ローターアクトに対する理解を深める。
- (5) 毎月第一日曜日の早朝清掃に参加する。
- (6) 努めて、各種行事、例会に、ローターアクトを招待し、また、ロータリー・クラブ会員も参加し、助言する。
- (7) 国際理解を深めるべく、330地区との交流（海外旅行、交通等）を計る。
- (8) ローターアクト運営の資金調達に助言し、知恵を与える。

3. 業 績

例会には、会長及び幹事を始め、青少年奉仕委員会のメンバーはもちろん、他の委員会の方にも平均して10名の出席率を心がけております。例会、理事会にて卓話、助言等協力して居ります。

毎月、第1日曜日には、西駅前広場の早朝清掃にもロータリアン共々がんばっており、愛の聖母園にも訪問しております。

インターアクト委員会

委員長 下野隆三

谷口行生

大庭昇

岡元健一郎

軸屋昭二

1. 基本方針

インターアクトは奉仕と国際間の理解に貢献し、また青少年としての指導力の養成並びに良き市民となるための訓練に重点を置き、之に提唱クラブとして最大の援助指導を行なうよう努力する。

2. 計 画

- (1) インターアクトの会員増強。
- (2) 学校長、指導教官、クラブのインターアクト委員、インターアクト委員長との会合を行なう。
- (3) 特に、指導教官、クラブ・インターアクト委員会との会合を多く持つ。
- (4) クラブ・インターアクト委員は、ロータリアンとのパイプ役となり、インターアクト育成のための協力を求める。
- (5) 本年度は、鹿児島地区がホストとして、第15回インターアクト年次大会が開催されるので、全面的協力を行ない、偉大なる成果を上げるよう努力する。

3. 業 績

委員会では、県下インターアクト指導教官との連絡協議会を行ない、色々な事を打ち合わせしました。

54年8月2日～4日の3日間、霧島国民休暇村における野外活動指導者養成研修会にも参加致しました。

国 際 奉 仕 委 員 会

委員長 池 田 広
尾 辻 省 悟
外 西 寿 彦
岩 元 紀 彦

1. 基本方針

国際理解、親善および、平和を増進できるように、クラブ全会員の参加をお願いするが、本年度は、特に、国際青少年計画に的をしぼって、活動方針としたい。

次に、組合せクラブ、330地区 JOHORE BAHRU クラブとの、親善をはかりたい。

2. 計 画

- (1) 交換学生の一泊ファミリー制をとり、会員全員に経験を通じてその意義を認識してもらおう。
 - (2) 鹿児島大学にいる45名の留学生の世話を、会員各位にお願いする。
 - (3) JOHORE BAHRUクラブとの文通その他により、友愛を深める。
 - (4) その他、世界社会奉仕については、地区に協力する。
- 財団関係は、小委員会、財団委員会の計画どおり。

3. 業 績

- ① 三クラブ合同による交換学生受け入れ完了、鹿児島の生活にも大分なれて来た様である。
- ② 鹿児島大学に留学中の学生諸士と親善をはかるため、第一回目は観月家族会に約二十名を招待した。今後さらに会を重ねて親睦を深めて行く。
- ③ 今年はじめて組合せクラブとなったジョホール・パルークラブ会長へ挨拶状を送った。

ロータリー財団委員会

委員長	久保政次
	川村洋
	岩元健吉
	山田裕三

1. 基本方針

ロータリー財団に関する情報を広め、これに対する支援を促進し、諸種のロータリー財団プログラムに対する、クラブレベルでの協力を奨励するという、本委員会の基本的任務を忠実に実行したい。

2. 計 画

- (1) ロータリー財団の目的の、会員および、一般への広報活動。
- (2) ロータリー財団週間（例会日11月15日）の活用。
- (3) 補助金候補者の推せんと、受領者との接触。
- (4) 百万\$食事（年5～6回）による、財団資金への支援。
- (5) ポール・ハリス・フェロー、準フェローの募集。

3. 業 績

ロータリー財団に関する情報を広め、これに対する支援を促進し、諸種のロータリー財団プログラムに対する。クラブレベルでの協力を奨励するという本委員会の基本的任務を実行するため、地味な日常の活動に重点を置きたい。

現在までのところ、百万\$食事を実施したが、今後上記計画について活動を進める予定である。

創立 7 5 周年記念委員会

委員長 徳 沢 紀 生
柴 山 一 雄
田原迫 卓 視
高 井 敏 治
岩 元 正 二
中 尾 正 昭

1. 基 本

クラブの内祝と、ロータリーの地域社会へのPRを主眼とし、75周年記念を迎え、会員のロータリー意識を更に、昂揚し、広報に役立ち、できるだけ後世に残る事業を重点的に計画実施する。

2. 計 画

- (1) 記念祝賀会は、市内5クラブ協議の上、昭和55年2月23日を開催予定日として、合同祝賀会とする。
- (2) 記念講演会の開催。
- (3) 永年、クラブの運営に功績のあったロータリアンの表彰。
- (4) 西ロータリークラブ奨学基金制度の創設。
- (5) 記念植樹（インターアクト委員会と協議）
- (6) 週報の75周年記念号を作成する（会報・雑誌委員会と協議）
- (7) R.I.の3-Hプログラムに基く、75周年記念基金として、会員1人当たり最低15ドルを寄附する。
- (8) ポール・ハリス・フェローをクラブ内に、できるだけ多く作るように努める（ロータリー財団委員会と協議）
- (9) ローターアクト、インターアクトの記念行事の指導（青少年奉仕委員会と協議）
- (10) 広報委員会は、75周年記念祝賀の地域社会へのPRを重点として実施する。

3. 業 績

- ① 市内5R.C.の75周年記念行事として合同例会を昭和55年2月22日開催することに決定した実施要領に関しては、市内R.C.75周年記念委員会の合同協議会で検討する。
- ② 75周年記念行事として、市内R.C.少年野球大会を10月28日、11月3日、11月4日の三日間東南R.C.をホストとして開催することを、市内5R.C.75周年記念委員長合同会議で協議し、当クラブは理事会に於て青少年委員会が担当することに決定した。尚、ローターアクトクラブには少年野球大会に協力を依頼する。

S · A · A

S. A. A 吉 留 益

副S. A. A 小 正 芳 史

1. 基本方針

秩序正しく、品位あり、しかも能率的なロータリー・クラブの会合を維持することに助力し、クラブの訪問者、および、来賓に良い印象を与えるようにいたします。

2. 計 画

- (1) 会員が、早く各自の席について、混乱のないように、また、着席者間に空席のないように、さらに、いつも同じ顔ぶれが並ばないように、気を配ります。
- (2) 親睦委員と連絡を密にして、ニコニコボックス等、楽しい、なごやかな例会にするよう努めます。
- (3) 適時、試みとして、テーブルマスターも決めたいと思っております。

3. 業 績

- ① 秩序正しく品位あり、能率的なロータリークラブの会合を維持することに、助力し、クラブの訪問者、及び来賓に良い印象を与える様に努めます。
- ② 月1回各委員会毎のテーブル配置を致しました。
- ③ ニコニコボックスについては、親睦委員と情報交換し、増収に努めて居ります。

